

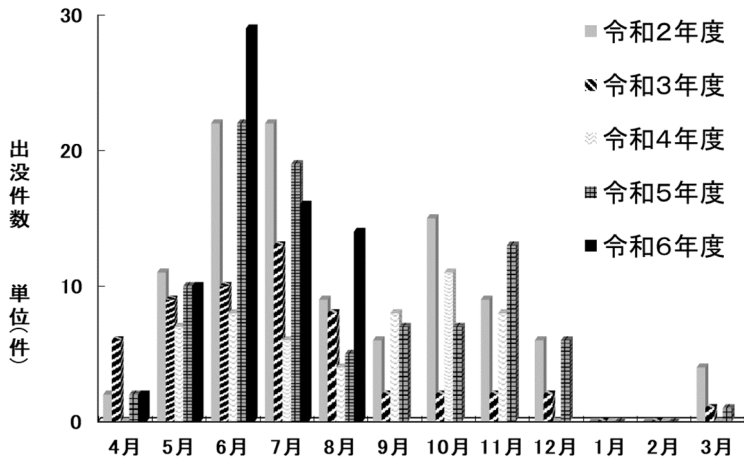
ツキノワグマから身を守るために

今年度も県内においてツキノワグマ(以下「クマ」という。)が「72件」目撃されています(令和6年8月31日現在)。

秋は冬眠前のクマが餌を求めて集落付近にも出没する可能性がありますので、注意をお願いします。

クマから身を守るために以下のことに心がけてください。

県内クマ目撃件数 (令和6年(2024年) 8月31日現在)



令和6年度

市町別目撃等件数(単位:件)

市町名	件数	うち 錯誤捕獲	殺処分
高島市	36	3	—
大津市	17	5	1
長浜市	14	1	—
米原市	2	1	—
甲賀市	3	—	—
県計	72	10	1

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	2	11	22	22	9	6	15	9	6	0	0	4	106
令和3年度	6	9	10	13	8	2	2	2	2	0	0	1	55
令和4年度	0	7	8	6	4	8	11	8	0	0	0	0	52
令和5年度	2	10	22	19	5	7	7	13	6	0	0	1	92
令和6年度	2	10	29	16	15	—	—	—	—	—	—	—	72

(単位:件)

1. 滋賀県内のクマについて

- 滋賀県内におけるクマの主な生息域は、湖北地域・湖西地域・比良山地・鈴鹿山脈です。秋は、冬眠前のクマが餌を求めて行動圏を拡大させることから、集落付近でも出没が増加する可能性があるため注意をお願いします。
- クマは「滋賀県レッドデータブック 2020年版」で、県内において存続基盤が脆弱な「希少種」として位置づけられており、被害の防止を図りながらその安定的な生息を図ることが重要です。
- クマは、本来は大変臆病で温厚な動物です。「猛獣」だと思っておられる方もいますが、過度に恐れることはありません。クマとの遭遇を少なくすることが、被害の防止につながると考えられます。

2. クマを引き寄せないために

- クマの餌になるもの(生ごみ、農産物の収穫残渣、コンポスト、ぬか漬けなどの発酵食品、ペットフード、油粕などの有機肥料、燃料、塗料など)を、屋外に放置しないなどの対応を徹底してください。墓地の供え物は持ち帰ってください。ハイキング、登山、溪流釣り、キャンプなどで出たゴミは必ず持ち帰ってください。
- 人家のまわりで収穫の予定のない柿や栗の実、また、ハチの巣は撤去してください。

3. クマと遭遇しないために

- クマに自分の存在を知らせてください。
クマは、嗅覚や聴覚が人より優れ、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。鈴、笛、ラジオなどで音を出して行動してください。
- クマがエサをとりにくる山林での行動を控えてください。
ドングリ類、クルミ、カキ、クリ、アケビなどが実っている林にはクマが潜んでいる可能性があります。

すので、極力近づかないようにしてください。やむを得ずそのような場所に入る場合は、複数の人で大きな音を出しながら入り、クマの新しい糞や足跡などをみつけたら引き返してください。

(3) 夜間・早朝・夕方の外出は注意が必要です。

クマは人里近くに出てくる場合、夜間から明け方にかけて行動することが多いので、早朝や夜間はできるだけ外出せず、外出する場合には、単独の行動は避けてください。特に、周辺地域で出没情報があるときは、常に周囲に注意を払うよう心がけ、鈴などで音を出して行動するなど、クマとの出会いを避けるようにしてください。

(4) やぶや暗い林を刈り払い、見通しをよくしてください。

クマが身を隠せるようなやぶや暗い林を刈り開き、見通しをよくすることは、人里への出没を予防し、不意の遭遇を避けるうえで効果があると考えられています。農地や人家、通学路などの周辺のやぶなどは、刈り払いを進めてください。

4. それでも、クマと遭遇してしまったら

(1) クマとの距離がある状況であれば、そっと立ち去ってください。クマは逃げるものを追いかける習性がありますので、走って逃げず、クマに背中を見せないようにしながら、静かに退避してください。

(2) クマを興奮させることは大変危険です。大声を出したり、ものを投げつけたりせず、自ずとクマが人から逃げられる機会を与えるよう心がけてください。

(3) 攻撃が避けられない状況になったら、地面のくぼみにうつ伏せになり、両手で首の後ろをガードすることによって、頭部、首などの急所を守ってください。

(4) 子グマに出会った場合は、近くに潜んでいる親グマが子グマを守るために襲ってくる可能性が高く、非常に危険です。子グマだからといって、近寄ったり、追い払ったり、脅かしたりせず、そっと立ち去ってください。

5. 令和6年度の堅果類の豊凶調査の結果について

今年度秋期のクマの出没の可能性の予測を行うため、クマの生息数が多いと想定される湖北地域および湖西地域の山地において堅果類（ブナ・ミズナラ・コナラ）の結実調査を行いました。

(1) 令和6年度の結実状況

ブナは湖北地域・湖西地域ともに凶作、ミズナラは県全体で不作（湖北地域で並作・湖西地域で凶作）、コナラは県全体で並作（湖北地域で豊作、湖西地域で不作）でした。

※豊凶の評価基準・・・豊作（50%以上の個体が密に着果）、並作（25～50%の個体が密に着果）、不作（25%以上の個体が疎に着果）、凶作（25%未満の個体が疎に着果）

(2) クマの出没予測

令和6年度の堅果類の実成りは、湖北地域で昨年より多く、湖西地域で昨年より少ない結果となりました。湖北地域においては比較的**低標高域**に分布するコナラの実成りが良い状況が確認されましたので、クマがより**低標高域**を利用する可能性が考えられます。また、湖西地域では**全体的に資源量が少ない**ため、**集落近くへの出没が多くなる**ことが懸念されます。一般的にも、秋季は冬眠前のクマが餌を求めて行動範囲が広がると言われていますので、十分に警戒をお願いします。

6. 目撃情報はお住まいの市町、最寄の警察署(110番)、滋賀県へご連絡ください

(1) 人家近くでクマを目撃した場合は、直ちに連絡してください。パトロールや集団登下校などの対策が実施できます。

(2) 提供していただきたい情報は、「目撃場所」「目撃時間」「大きさ」「移動方向」「何をしていたか」などです。

(3) クマの生息状況を把握し、被害の防止につなげるためにも、目撃情報の提供等にご協力をお願いします。